

エンジニアのための教養講座2020

～次世代産業を支えるものづくり技術と地域企業経営～

主催 ・信州大学
・岡谷市

共催 ・NPO諏訪圏ものづくり推進機構
・長野県テクノ財団 諏訪テクニクス地域センター
・ものづくり支援センターしもすわ
・茅野・産業振興プラザ

今年で11回目を迎える「エンジニアのための教養講座」は、これまでの先進材料・デバイス・精密メカトロ技術に加え、新たに「コロナ感染下における企業活動の在り方」、「エンジニアに求められるマーケティング技術」を設けました。お仕事や自己啓発にご活用して戴ければ幸いです。

なお、講座は1回から8回まで通して受講いただくことを想定していますが、興味あるテーマのみの受講も可能です。一般の方の聴講も歓迎です。お誘い合わせの上ご来場下さい。

▶ 場 所 : テクノプラザおかや3F 人材育成研修室

▶ 時 間 : 18:00～19:00 ▶ 受講料 : 無 料 ▶ 定 員 : 20名

* 新型コロナウイルス感染症の動向によっては中止になる場合があります

* 発熱、咳など体調がすぐれない方は、参加をご遠慮ください

申込み締め切り:開催日1週間前

	開催日	テ ー マ	講 師
1	10月 6日(火)	環境にやさしい高強度かつ軽量の 新型炭素繊維複合材料の開発と課題	信州大学繊維学部機械・ロボット学科 教授 鮑 力民
2	10月15日(木)	企業における感染症対応 ～コロナと共生する新しい働き方について～	信州大学医学部附属病院 感染制御室 助教 金井 信一郎
3	10月22日(木)	油圧ロボットアームの新しいモデリングと制御	信州大学工学部 機械システム工学科 准教授 酒井 悟
4	10月29日(木)	シリーズハイブリッド自動車の省エネに向けた 「フリーピストンエンジンリニア発電システム」	信州大学工学部 電子情報システム工学科 助教 佐藤 光秀
5	11月 5日(木)	現代社会におけるICT技術 ～ウィズコロナ・働き方改革～	信州大学工学部 電子情報システム工学科 教授 アサノ デービッド
6	11月12日(木)	エンジニアのマーケティング工具箱	信州大学経営大学院 教授 今村 英明
7	11月20日(金)	見える無線通信 “可視光通信” ～LEDの光で情報を伝搬～	信州大学工学部 電子情報システム工学科 教授 半田 志郎
8	11月27日(金)	摩耗のはなし ～摩耗の基礎と自動車用軸受の最新加工技術～	信州大学大学院 総合工学系研究科 前特任教授 岡田 勝蔵

お問い合わせ・申し込み先

▶ 岡谷市産業振興部工業振興課

笠原

Tel: 0266-21-7000

E-mail: kougyo@city.okaya.lg.jp

▶ 信州大学諏訪圏サテライトキャンパス 渋澤・渡邊

Tel: 0266-21-1561

E-mail: junwatanabe@shinshu-u.ac.jp

エンジニアのための教養講座2020

～講師からのひとこと～

鮑 力民 先生(10/6)

環境にやさしい高強度かつ軽量の新型炭素繊維複合材料の開発と課題

炭素繊維複合材料は航空機や風力発電ブレード、圧力容器、スポーツ・レジャー用品等をはじめ、様々な用途で採用が拡大しています。需要拡大にともない、炭素繊維複合材料のリサイクル性などが社会的に求められています。
研究室の新型炭素繊維複合材料の開発状況、課題等について紹介します。

金井 信一郎 先生(10/15)

企業における感染症対応 ～コロナと共生する新しい働き方について～

新型コロナウイルス感染症に対する対策は第一波においては社会・経済活動の犠牲の上で行われ感染拡大に対する一定の成果は見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行は今後も継続的に起こり、そのような荒療治は持続していくことは困難です。企業において、感染症とどう共生していくかを考えます。

酒井 悟 先生(10/22)

油圧ロボットアームの新しいモデリングと制御

新しいモデリング(新しい眼鏡)と制御によって、ヒトと協働する油圧ロボットアームが初めて実現されます。
油圧ロボットアームが切り開くこれからの社会像を考えます。

佐藤 光秀 先生(10/29)

シリーズハイブリッド自動車の省エネに向けた「フリーピストンエンジンリニア発電システム」

フリーピストンエンジンリニア発電システムはクランク機構を利用せず機械損失の低減が可能となることから、次代のハイブリッド自動車用エンジン発電機として注目されています。本講演では、本システムの原理・特徴を紹介し、ピストンの任意動作性を活かした損失低減に関する検討結果を報告します。

アサノ デービッド 先生(11/5)

現代社会におけるICT技術

インターネットの普及により、ICT(情報通信技術)を利用した新たなビジネスが多数出現して現代社会において不可欠なものになりました。特に、コロナ禍の現在においてはITCの活用が加速化し、働き方改革に大きな影響を与えている現状についてお話しします。

今村 英明 先生(11/12)

エンジニアのマーケティング道具箱

「顧客の潜在ニーズをどう探索するか?」「物売りからサービスへ、さらにソリューションへどう展開するか?」「IoTのプラットフォーム化をどう進めるべきか?」など、最近関心の高いテーマについて、ミニ・ケースなどを織り交ぜて議論します。

半田 志郎 先生(11/20)

見える無線通信”可視光通信“ ～LEDの光で情報を伝搬～

日本で生まれた新しい技術「可視光通信」について紹介します。電波の代わりにLEDの光に情報をのせて情報通信が可能です。電波の使用が制限されている場所でも、ガラス越しや水の中でも、光が届くところならどこでも利用できます。信州大学が2014年に打ち上げた可視光通信実験衛星”ぎんれい”についても簡単に紹介します。

岡田 勝蔵 先生(11/27)

摩耗のはなし ～摩耗の基礎と自動車用軸受の最新加工技術～

摩耗は少しずつ増減する現象です。摩耗の一形態である凝着摩耗はすべり摩擦で発生する場合があります。自動車用すべり軸受の最新加工技術を交えながら、摩耗進行曲線の立場から、凝着摩耗の基礎とすべり軸受の凝着摩耗を極限状態まで抑制する手法の概要について紹介します。